

## 最近の韓国・中国・台湾経済情勢について

### **【今週のチェック・ワード】**

#### **【北朝鮮の核開発について】**

北朝鮮は国際社会での存在感を維持する上からも核開発を止めません。

全世界が核放棄をしていない現状、「何故北朝鮮が核放棄をしなくてはならないのか？」との主張を繰り返し、核保有する米国や中国本土などの国に対して、「核開発の正当化」を続けて主張しています。

その上で、北朝鮮自身は、

「今回の核実験は核弾頭の威力判定の為の核爆発実験であった。」

と主張しつつ、小型化、軽量化して弾道ミサイルに装着できる核弾頭の生産が可能になったと豪語しています。

もしこれが正しいとすると、これは脅威であり、米国政府も北朝鮮の核開発の状況に懸念を示しています。

航空機による核爆撃に比べ、核弾頭ミサイルは迎撃が難しいとされており、北朝鮮が核搭載型ミサイルを開発する目的は、正にこうした武力強化を背景にして、米国本土やグアム米軍基地、更には在日米軍基地を核の脅威下に置くことにあるとの見方も出ているのです。

こうしたこともあってか、国際社会では、国連が安全保障理事会を開催し、北朝鮮の5回目の核実験を受けた非公開の緊急会合を開きました。

極めて由々しき事態です。

さて、こうした中、その北朝鮮と対峙している韓国政府の企画財政部は、北朝鮮が5回目となる核実験を行ったことに関して、

「国内外の金融市場および実体経済に与える影響は大きくない。」

との認識を示し、内外に動揺が広がらないように配慮する発言を行っています。

北朝鮮の核実験を受けて開かれた韓国の緊急の「マクロ経済金融会議」に於いて、こうした見解を示したものであります。

私自身も、確かに当面、国際金融市場での動揺は表面的には顕在化しておらず、そうした意味では、「実体経済に与える影響は限定的である。」と見ておいてよいであろうと考えています。

しかし、北朝鮮は核開発の進展と同時に、潜水艦からのミサイル発射実験成功などの状況を見ると、北朝鮮のミサイル発射能力の向上も具現化しており、

そうした意味では、「北朝鮮の潜在的な脅威は増している。」とも認識しておくべきであり、その影響をフォローしなくてはならないと考えています。

そして、そうした軍事面も含めた総合的な視点から見た地政学的リスクの顕在化を阻む上からも、「日米中露と韓国」が連携した、

「平和を求める（＝窮鼠猫を咬むような形で北朝鮮を追い込みすぎてはいけないという意味）北朝鮮包囲網の構築」

は不可欠であり、就中、「米中連携」は重要となると私は考えています。

そして、その米中連携を基にして、

「上述したような、北朝鮮の軍事力強化を技術面で支えているのではないか。」との可能性が指摘されている、「ロシアの北朝鮮に対する関与」をしっかりと牽制する機能を持たないと、「北朝鮮の軍事力を含めた潜在的なリスクの上昇」を食い止めることは出来ないのではないかと私は危惧しています。

そうした意味でも、是非、

「米中が真の大国の品格と威信を示し、単なる覇権主義に基づくものではなく、大局的な見地からの国際連携を進化させる。」

と言うことを具現化してもらいたいと私は期待しています。

無理でありましょうか、米中両首脳閣下？

## **【台湾・中国・その他】**

—今週の台湾・中国—

[台湾]

政権交代を機に台湾を訪れる中国人観光客が減少していると台湾では認識されている。

蔡総統の対中政策に対して、中国本土が不満を抱いていることが影響しているとみられている。

中台関係の動向もフォローしたい。

[中国]

中国本土にとって、自国の安定を図る上からも、

「朝鮮半島の核武装化」

は絶対に阻止したいことであり、そうした意味で、中国本土に隣接する北朝鮮が核武装化することは、何があっても阻止したいことである。

しかし、昨今の北朝鮮首脳部の言動は、こうした中国本土の意思には全く反するものであり、中国本土としては、

「過激な圧力を加えて、北朝鮮を、窮鼠猫を咬む状態に追い込むことは回避したい。」

とはしているものの、きちんと中国本土の意思と立場を北朝鮮に伝え、今後、更なる核開発を止めるように様々なチャネルを使って圧力を加えている。

それはまた、国際社会の、「北朝鮮に対して影響力のある中国本土が北朝鮮に対して圧力を加えるべきである。」

といった要請に一定程度答えているという姿勢にも繋がる効果もあり、中国本土政府は北朝鮮政府へのコンタクトを続けている。

しかし、筆者はこうした中国本土の動きは、及び腰と映り、北朝鮮はほとんど、その言動を変えるものとはならないであろうと考えている。

そしてまた、北朝鮮が他国に対して、一発でも良いので核ミサイル攻撃が可能な状態を作り出してしまえば、各国はその北朝鮮に対して先制攻撃を行うことには相当の躊躇が起ころうし、これが正に北朝鮮が望む、「核による抑止力」ともなることから、北朝鮮は中途半端な形の国際的な圧力には屈しないと思われる。

そうした視点から見ると、事態は深刻な方向に向かっているのではないかと筆者は危惧している。

#### —今週のニュース項目（見出し）—

1. ミャンマー情勢について
2. フィリピン情勢について
3. 中国本土、不正腐敗の払拭について
4. 中露関係について
5. 米国・フィリピン関係について
6. 中国本土、軍事力について

#### —今週のニュース—

1. ミャンマー情勢について

軍事政権下で、先進国からの制裁を受けていた時代のミャンマーは、中国本土との外交関係に大いに依存していたと言えようが、民主化が進み、アウンサンスーチー氏が政治の表面に立ってからは、国際社会のミャンマーに対する見方も変わりつつある。

こうした中、ミャンマーのアウンサンスーチー国家顧問兼外相は、英国と米国を訪問した。

アウンサンスーチー氏の欧米訪問は3月末の新政権発足後初めてであり、軍事政権下で制裁を科すなどミャンマーと疎遠となっていた英米との関係強化を図る狙いがあり、その一定の成果が示されるものとなった。

今後の動向をフォローしたい。

## 2. フィリピン情勢について

何かと過激な言動の多いフィリピンのドゥテルテ大統領は、インドネシアのジョコ大統領と会談、その際に、フィリピン・インドネシア両国とマレーシアの三国が共同で南シナ海の高賊対策に取り組むことを確認したとしている。

そして、その際に、「高賊対策の為なら、インドネシア軍がフィリピンの海域に入ってもかまわない。ぶっ飛ばしてやれ。」

と相変わらずの強烈な表現をしたとも伝えられている。

今後の動向を注視したい。

## 3. 中国本土、不正腐敗の払拭について

中国本土にとって、不正腐敗の払拭は中国人民の大きな関心事の一つである。

しかし、一方で、不正腐敗の払拭を利用した権力闘争ともなっているとの見方もある。

こうした中、習近平国家主席に近いとされる天津市トップの黄興国・同市共産党委員会代理書記兼市長について、重大な規律違反の疑いが明るみに出たとの見方が中国本土で出ている。

そして、この黄氏の摘発は権力闘争の激化を反映した可能性が高いとも見られている。

また、中国本土・遼寧省でも、政府幹部らの腐敗の摘発が拡大している。

人民の不信・不満の解決と共に、来年の中国共産党大会に向けて、中央の権力闘争の余波を受けているといった見方もここにきて浮上している。

中国本土国内の分裂リスクの一つとして注視したい。

## 4. 中露関係について

中国本土とロシアの両海軍による合同軍事演習「海上連合—2016」が、中国広東省湛江沖の南シナ海で始まった。

中露の海上軍事演習は2012年から毎年行われているが、南シナ海では初めてとなる。

中国本土はロシアとの緊密な軍事協力関係を誇示し、南シナ海への関与の姿勢を強める米国や東南アジアを軍事的に威嚇していると言えよう。

また、ロシアの米中接近を回避する動きとも見て取れる。

今後の動向をフォローしたい。

## 5. 米国・フィリピン関係について

フィリピンのドゥテルテ大統領は演説で、テロ対策の名目で南部ミンダナオ島に巡回駐留している米軍部隊について、「出て行かなくてはならない。」との主旨の発言をしている。

一見すると、米国批判を強めているように見えるドゥテルテ大統領は、米国のオバマ大統領に対する「暴言」で米比首脳会談の延期を招いているが、今回はフィリピンでの米軍駐留の是非をコメントしている。

更に、ドゥテルテ大統領は軍関係者に向けた演説で、今年4月に米国と合意していた南シナ海での軍による共同哨戒活動に参加しない方針を示している。フィリピンの対米外交姿勢は、その対中外交姿勢と共に注視したい。

## 6. 中国本土、軍事力について

中国本土は、制宙権を含めた軍事力の強化を図り、覇権を強めようとしていると筆者は見ている。

こうした中、中国本土政府は、宇宙ステーション開発の前段となる宇宙実験室「天宮2号」を北西部の酒泉衛星発射センターから打ち上げた。

中国本土政府は、10月に打ち上げる予定の有人宇宙船「神舟11号」とドッキングし、飛行士が乗り込む計画で、宇宙での研究開発を加速したいとしている。

今後の動向をフォローしたい。

## 〔 韓 国 〕

—今週の韓国—

先週もご報告申し上げたとおり、韓国の海運最大手であり、国際的にも知られている韓進海運が法定管理（日本の会社更生法適用に相当）を申請したことにより、ポートチャージや燃料の支払いが滞り、こうした結果、貨物が引き取れないと言う事態が韓国国内ばかりではなく、世界的に見られている。

そして、米国をはじめ世界各国で韓国の主要な物流の一部が麻痺状態に陥っているとも言える。

こうした事態にならぬよう、先進国政府では通常、事態の悪化を回避すべく、様々な政策的手段も取るのであるが、むしろ今回は韓国政府自身が背後で、厳しい姿勢を示しているとの様子も見られており、米国政府も訪韓中の商務省副次官補を通じて、韓国政府に対し事態の早期解決を要請するといった事態となっている。

即ち、アジア担当副次官補のダイアン・ファレル氏が、韓国政府・海洋水産部のユン・ハクペ次官と非公開で面会をして、

「米国の船主らへの大きな被害が懸念されるため、事態を早急に解決してほしい。」

との要請を行っているほどである。

韓国のカントリーリスクにも繋がる可能性もある事態であるだけに、韓進海運破綻問題については、引き続き、動向を注視したい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 中秋節休暇について
2. 雇用動向について
3. F C V車について
4. 朝鮮半島非核化について

—今週のニュース—

#### 1. 中秋節休暇について

韓国の会社員の秋夕（中秋節、今年は9月15日）連休中の支出額は、平均52万6,000ウォンと見積もられている。

これは、生涯学習講座を運営するヒューネットが会社員970人を対象にして実施した調査の結果を基にした見方である。

今年の予想額は、2014年の調査結果（平均48万3,000ウォン）に比べて増加しており、内訳をみると、既婚者は平均55万1,000ウォン、未婚者は39万4,000ウォンで、既婚者の方が多くなっている。

また支出内容を見ると、「親や家族への小遣い」が54.9%で最も多く、次いで「贈り物の購入」（17.3%）、「祭事費用」（14.0%）の順となっているが、「旅行費用」という回答も9.6%を占めている点は注目される。

更に、秋夕の支出額が昨年に比べ「ほぼ同じ」との回答は70.5%となり、「増えた」は23.6%、「減るだろう」は5.9%となっている。

こうした結果から見ると、中秋節には、景気悪化の影響は見られていないようである。

#### 2. 雇用動向について

韓国政府・統計庁が発表した雇用動向によると、本年8月の韓国の失業率は3.6%で前年同月から0.2ポイント悪化した。

若年層（15～29歳）の失業率も同1.3ポイント悪化し9.3%となり、8月としては1999年の10.7%以来の高さとなった。

また、失業率の統計には表れない、アルバイトをしながら就職活動をする人や入社試験に備える学生などを含めた雇用補助指標をみると、「体感失業率」は

10. 2%となっている。

8月の失業率は、蔚山や慶尚南道など造船、海運産業の構造改革が進む地域を中心に悪化したことが影響したと分析されている。

景気悪化の不安が拡大している。

### 3. F C V車について

水素を燃料とする燃料電池車（F C V）を使ったタクシーとカーシェアの試験事業が、11月から韓国でスタートする。

F C Vは水素と空気中の酸素の化学反応により発生した電気でモーターを回して走行する車で、今回の事業を通じ新たな自動車業界の到来がさらに早まるとの期待も持たれている。

今後の動向をフォローしたい。

### 4. 朝鮮半島非核化について

米中は共に朝鮮半島の非核化を確実なものとし、また、更に日本の核武装には厳に反対する方針であることは間違いない。

こうした中、韓国政府が今年5月、米国との定例の防衛協議で核兵器の共同管理に言及したと、米韓関係筋が明らかにした。

韓国側の関心は、米軍が韓国内の基地などに核兵器を配備し、米韓共同で管理すれば、北朝鮮の脅威によって広がる韓国内の核武装論を抑えられる点にあるとしているが、米国は東アジアで核が広がる上述したような「核ドミノ」を警戒しており、韓国の考えを受け入れなかったとしている。

韓国国内では、トランプ氏の発言なども受けて、韓国自身の核武装論も出ており、懸念されている。

しかし、こうした中、また、韓国政府は今月12、13の両日にソウルで開かれた米韓軍統合同国防協議で、

「米国が『核の傘』を必ず提供するという確実な保障が欲しい。」

と求めていたことが伝えられている。

米国に戦術核の再配備を断られる中、韓国内で広がる核武装論を憂慮したものと恐れ、注視しなければならない

今後の動向をフォローしたい。

### 【トピックス】

私たちが生きていく際、「全てが自分の思い通りにいく。」ことはまずありません。

もしも、全てが思い通りにいっているとすれば、それは、「よほど、力がある

上に、我を押し通すことが出来る人」であるか、或いは、「よほど、自らを思い通りにいっていると自分自身を納得させることが出来る人」かでありましょう。

即ち、それほど、「人生は自らの思いのままにはならない。」と認識しておくべきなのであります。

ところが、最近の、特に新興国から先進国になった国々も含めた先進地域の国々の人々の中には、「自らの思い通りにならないことに対して不快感を露骨に示す。」といった行動を示した上で、「腹を立てて粗暴になる。」或いは、「不快感を示したまま、投げやりな態度を取る。」といった姿勢を示す人が増えているのではないかと思います。

こうした様子を見ていると、極めて、粗暴であり、また幼稚でかつ品格も感じられないと私などは思ってしまう。

従って、私はそうした人と接すると、「あなただけが思い通りにならないのではない。」と言った上で、

「あなたが望んでいる理想とあなたが今感じている現実の間にあるギャップがどの程度存在し、それは何故生じているのか、更には、そのギャップを如何にすれば少なくし、最良のケースとしては、そのギャップを全く無くすことが出来るのかを考えて、その為の行動を率先して起こしてください。」

と申し上げるのであります。

そして、そうした行動を取ることを、私は、「理想と現実の折り合いをつける。」と良く申し上げているのであります。

ところが、最近、お話を聞いていると、先ず、「自らの理想、望んでいること」すらイメージしておらず、感覚的、感情的に、現実とのギャップに不満を示すような人が多く、理想をイメージする、「想像力」に欠ける人も増えていると感じます。

更には、理想と現実とのギャップを埋める為の処方箋を考え出す、「創造力」にも欠ける人が増えているのではないかと私などは強く感じています。

そして、世界的な混沌と低迷はこうした視点から見ても長引くかもしれないと私は感じています。

### [今週の“街角のお話”シリーズ]

地域で活躍している様々な企業を私は存じ上げています。

地方創生が叫ばれている昨今、特にそうした企業は注目されていますが、私が知るところでは、ずっと以前より、「地域に根ざし、地域のために頑張っている企業」がたくさんあり、そうした企業こそが、正に今の日本経済を救う救世主であろうと私は考えています。

先般、富山市を訪問しましたが、日本で住み易い都市の筆頭にも上げられる



この富山では、例えば、老舗の漢方薬製造・販売を行っている池田屋安兵衛商店は大型観光バスで乗り付けてくる内外のお客様を相手に、社員の皆さんは、おそろいのユニフォームを着て、てきぱきと働き、店の内外に、「活気」を伝えていました。

そして、その池田屋の道を隔てて反対側に本店を持つ北陸銀行は、

- \* ミレーの作品などをたくさんに集めて展示する美術館を運営している。
- \* 経営破綻した映画館を改築して園芸館を建設運営しており、富山県出身の人気落語家である立川志の輔名人を呼んでの演芸会を開催している。
- \* 本店ギャラリーに中国・新疆ウイグル地域などで撮影した写真の展示会を開催している。

等々の活動を行いながら、地域の発展のために活躍されています。

また、富山第一銀行も本店に美術館を受け入れており、この地域を代表する企業は、地域の経済的発展と共に文化的発展も意識しながら水面下での活動を拡大しているのであります。

或いは、かつて、プロ野球・巨人軍の長嶋選手や王選手など有名な選手たちが北陸遠征の際に通ったとんかつ屋さんも、店内の雰囲気は一変して高級感を持つ店構えとなっていました。その味は昔のまま、良いものを残しながら、発展していることを感じました。

こうした地域企業の頑張りをこれからも注視したいと思います。

### [英語で一言]

ここでは、英語を母国語としない私が英語を母国語としない多くの人々にも伝わるように、短文、平易な英単語を使って、気になる言葉、出来事を、短歌のように数行で示していくことを毎週トライするものであります。

またまた拙いコーナーの開始ですが、お付き合いください。

## 日本のスポーツ=Sports in Japan

スポーツには様々なビジネスチャンスがあると言われています。

日本では、青少年層には野球、サッカー、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、テニス、水泳、柔道、剣道、弓道（アーチェリーも含む）、空手、登山、釣りなどが人気のスポーツとなっています。

また、冬のスポーツとしては、スキー、スケート、アイスホッケーが盛んとなっていると思われます。

一方、ホワイトカラー、特にビジネスマンの管理職層の中で最も普及しているのはゴルフであり、ゴルフは仕事の一部となっているとも言われます。

野球、サッカー、相撲、ゴルフ、ボクシング、レスリングなどには古くからプロのチームまたは選手がいて、テレビなどでその試合が放映されており、ファンが多く、ビジネスの一つとなっています。

日本のスポーツ=Sports in Japan

It is said that there are many kinds of business chance in sports.

In Japan sports popular with young people include baseball, soccer, rugby football, volleyball, tennis, swimming, judo, kendo, kyudo or archery, karate, mountain climbing and fishing.

The most popular winter sports are skiing, skating and ice hockey and recently the other new skiing sports such as mogul are becoming popular among young people.

Golf is the most widespread sports among white collar businessmen, especially those in superior positions businessmen.

And also there are professional baseball and soccer teams, and sumo, golf, boxing and wrestling are also practiced by professionals, with competitions being televised and followed by numerous numbers of fans.

### [主要経済指標]

#### 1. 対米ドル為替相場

韓国：1米ドル／ 1, 126. 89 (前週対比－20. 86)

台湾：1米ドル／31. 70ニュー台湾ドル (前週対比－0. 11)

日本：1米ドル／ 102. 23 (前週対比＋0. 53)

中国本土：1米ドル／6. 6707人民元 (前週対比＋0. 0125)

#### 2. 株式動向

韓国 (ソウル総合指数)：1, 999. 36 (前週対比－38. 51)

台湾 (台北加権指数)：8, 902. 30 (前週対比－262. 58)

日本 (日経平均指数)：16, 519. 29 (前週対比－446. 47)

中国本土 (上海B)：3, 002. 849 (前週対比－76. 006)

以上  
草の根の辻説法師を目指す  
真田幸光